

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月21日(水・祝) 15時00分～17時10分
会場：S1会場(13号館2階1325教室)

プログラム

15:00- 会長講演「民族性と科学技術のジレンマ」
平成28,29年度会長 山本 尚
15:40- 表彰式

市民公開講座 太古から未来へ ～超えるかがく～

主催：日本化学会 第98春季年会実行委員会
共催：日本大学理工学部
後援：船橋市教育委員会、八千代市教育委員会
日時：3月21日(水・祝) 13時25分～17時
会場：S2会場(13号館2階1326教室)

春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

13:30- しなやかなタフポリマーを用いた材料革命(東大)伊藤 耕三
14:20- 産業界と目指すAI創業革命(京大)奥野 恭史
15:10- 恐竜時代の海(東京学芸大)佐藤 たまき
16:20- 国際宇宙ステーション「きぼう」と、「Made in 宇宙」のタンパク質結晶が拓く創業研究(JAXA)大西 卓哉 宇宙飛行士・山田 貢

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

実験教室 化学の魔法

主催：日本化学会 第98春季年会実行委員会

共催：日本大学理工学部

協力：日本大学理工学部 科学サークル EBI

後援：船橋市教育委員会

日時：3月21日(水・祝)

会場：8号館2階 一般化学教育実験室

私たちの身のまわりで化学がどのように役立っているかを広く知ってもらうために、小学生を対象とした実験教室を開催いたします。

プログラム

「光る!動く!不思議なスライムを作ろう」&「赤・青・緑…ムラサキキャベツでカメレオン色水を作ろう」
実施全3回 (1)10:00- (2)12:30- (3)14:30-
(実施時間は約1時間)

参加費：無料

対象：小学生

申込方法：事前申込制(先着順)。

WEB(<http://www.csj.jp/nenkai/98haru/5-2.html>)の申込フォームよりお申込み下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：日本化学会

協力：(株)化学工業日報社

後援：一般社団法人日本科学機器協会・一般社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会

日時：3月20日(火)～22日(木) 10時～17時

会場：理工スポーツホール

参加費：無料

出展社：(2月2日現在)

(株)アイシス、(株)旭製作所、朝日分光(株)、(株)朝日ラボ交異、American Chemical Society、(株)アントンパール・ジャパン、Wavefunction, Inc.、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、HPC システムズ(株)、英文校正エナゴ/論文翻訳ユレイタス、(株)エリカ オプティカル、エルゼビア・ジャパン(株)、大塚電子(株)、オプトシリウス(株)、(株)化学工業日報社、一般社団法人化学情報協会、(株)化学同人、カクタス・コミュニケーションズ(株)、関東化学(株)、QMAIL、(有)桐山製作所、(株)グローブボックス・ジャパン、(株)クロスアビリティ、(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン、コーニングインターナショナル(株)、コンフレックス(株)、三共出版(株)、CEM Japan(株)、シーシーエス(株)、重松貿易(株)、システム・インスツルメンツ(株)、柴田科学(株)、ジャパンハイテック(株)、シュプリング・ネイチャー、シュレーディング(株)、昭光サイエンス(株)、(株)神鋼環境ソリューション、(株)スペクトリス(株)、(株)大興製作所、(株)ダイセル、田中貴金属グループ、(株)DFC、(株)デジタルデータマネジメント、Taylor & Francis Group、(株)テクノシグマ、(株)東京インスツルメンツ、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、東京ダイレック(株)、東京理化学器械(株)、(株)中村超硬、中山商事(株)、ニッコー・ハンセン(株)、公益社団法人日本化学会 学術情報部、公益社団法人日本技術士会 化学部会、一般社団法人日本試薬協会、日本製紙クレシア(株)、日本電子(株)、日本ビュッヒ(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、(株)ニューメタルスエンドケミカルスコーポレーション、(株)パーキンエルマー・ジャパン、パーソルテンプスタッフ(株)、バイオタージ・ジャパン(株)、(株)バキューブランド サイエンスフィック ジャパン、浜松ホトニクス(株)、ハリオサイエンス(株)、ビー・イー・エス(株)、ヒドラス化学(株)、富士シリシア化学(株)、富士通(株)、(株)Book Smart、分子科学研究所 大学連携研究設備ネットワーク、分子・物質合成プラットフォーム、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム、丸善出版(株)、丸善雄松堂(株)、メトラレー・トレド(株)、(株)モルシス、山善(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、ユラボジャパン(株)、(株)ライトストーン、(株)リガク、Royal Society of Chemistry、(株)ワールドインテック、(株)ワイエムシイ、ワイリー・ジャパン、和光純薬工業(株)、渡辺化学工業(株)

元素川柳コンテスト

日時：3月20日(火)～22日(木) 10時～17時
会場：理工スポーツホール

第98春季年会実行委員会は、参加者の皆様に「元素という切り口から、化学により親しみを感じていただきたい」との思いから、元素川柳コンテストを開催いたします。入賞作品は付設展示会場に掲示します。また、参加者による人気投票も。

参加費：無料
申込方法：事前申込不要
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

スプリングコンサート 2018

日時：3月23日(金) 16時～17時
会場：SD会場(階段教室1階大教室)

化学オーケストラ：

日本化学会会員を中心に広く化学関係者によって2002年に結成された音楽団体です。例年、日本化学会春季年会の「スプリングコンサート」で演奏を披露するほか、秋の「千代田区オーケストラフェスティバル」への参加も続けています(2018年は10月20日(土)、大手町・日経ホールにて開催予定)。国際交流にも熱心で、2015年12月には環太平洋国際化学会議(ホノルル)においてホノルルのアマチュア演奏家の協力を得て演奏を行い、次回2020年の同会議における国際交流演奏会の企画がすでにスタートしています。今回の「スプリングコンサート」では、研究発表の合間に明るく華やかな曲でお楽しみいただきます。

プログラム

指揮：宮野谷 義徳(オーケストラトウキョウ音楽監督)
曲目：

1. J・シュトラウスⅡ/ワルツ「春の声」
2. アンダーソン/ブルータンゴ
3. ベートーベン/交響曲第7番(全4楽章)

参加費：無料
問合せ先：日本化学会事務局 保倉光邦
E-mail: hokura@chemistry.or.jp
<http://chemical.world.coocan.jp/orchestra/index.htm>

懇親会

日時：3月21日(水・祝) 18時～20時
会場：ファラディホール

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、ぜひお問い合わせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：(予約) 一般5,000円、学生2,000円
(当日) 一般6,000円、学生2,000円
申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。※懇親会のみ参加も可能です。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

ATP 交流会

日時：3月20日(火) 18時～19時30分
会場：ファラディホール

年会参加者ならどなたでも立ち寄っていただけるATP交流会。ATPセッションのオーガナイザーや講師、ATPポスター講演者も多数参加し、人と人との繋がりを作れる場となっています。円滑な交流をしていただけるよう軽食やお飲み物を準備し、企業提供の賞品がもらえる抽選会も企画しています。そして今年は、日本化学会の紹介PVも初お披露目。樺坂46や高橋優のミュージックビデオを手掛けた監督による作品をお楽しみに。是非、お問い合わせでATP交流会へお立ち寄り下さい。学生は参加費無料です!!

式次第

- 18:00- 開会
開会挨拶(花王) 武馬 吉則
会長挨拶(中部大) 山本 尚
乾杯(東工大) 高田 十志和
- 18:10- 歓談
- 18:55- 化学会PV 初お披露目
- 19:00- 抽選会
- 19:25- 閉会挨拶(三菱ケミカルHD) 浦田 尚男

参加費：学生無料、一般1,000円
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 坂下、白石、矢部
電話(03)3292-6163
E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

Chem-Station イブニングミキサー

日時：3月22日(木) 18時～20時
会場：ファラディホール

学生や博士研究員を中心とする若手研究者や留学生の方に交流の場をChem-Stationより提供いたします。※詳細はWEB(<http://www.chem-station.com>)をご覧ください。

参加費：無料(※飲物は参加者が購入するスタイル)
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

CREST & さきがけ「超空間制御」 合同シンポジウム ～超空間が拓く革新的機能と新素材～

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構
日時：3月21日(水・祝) 10時～16時30分
会場：S5会場(14号館2階1423教室)

平成25年秋にJST CREST さきがけ「超空間制御」研究領域がスタートしてから、合同シンポジウムも4回目を迎えます。過去

のシンポジウムでは「超空間を舞台とする新しい化学」と題し、「超空間」を主役とした化学への可能性について講演を行ってきました。今回はより現実的になってきた革新的機能、素材を中心にご報告いたします。また、さきがけでは、今年度修了年度となる第二期採択課題の研究成果をわかりやすく説明いたします。いずれも挑戦的でキラリと光る独創的な課題であり、重要な成果が生まれたものと思います。ご期待下さい。

プログラム

- 10:00- CREST 趣旨説明 (三菱ケミカル) 瀬戸山 亨
10:15- ナノ超空間を利用した熱・スピン・電界交差相関による高効率エネルギー変換材料の創製 (東北大) 水口 将輝
10:40- 界面超空間制御による超高効率電子デバイスの創製 (東工大) 一杉 太郎
11:05- 単分散プラトニックミセルを利用した細胞標的型 DDS の基盤構築 (北九州市大) 櫻井 和朗
11:30- ソフトナノ空間を形成する自己組織化液晶高分子を基盤とする革新的輸送材料の創製 (東大) 加藤 隆史
12:55- 休憩
13:00- さきがけ主旨説明 (早大) 黒田 一幸
13:10- 空間制御による原子解像度イメージング技術革新 (NIMS) 清水 智子
13:25- ゲスト分子-空間空隙相互作用の原子スケール 3 次元 AFM 計測技術の開発 (金沢大) 浅川 雅
13:40- マルチスケール・モデリングによる金属酵素型多孔性配位高分子の原理解明とデザイン (香港城市大) 平尾 一
13:55- 多孔性有機結晶の閉塞空間を活用した革新的光エネルギー変換材料の創製 (九大) 小野 利和
14:10- 光合成タンパク質における規則的ナノ空隙群の創成 (近大) 佐賀 佳央
14:25- キラルなホストとゲストを利用した分子ネジの創成と展開 (九大) 山田 鉄兵
14:40- 三次元 Gyroid 極小界面を用いたプロトン伝導性空間の創成 (東京農工大) 一川 尚広
14:55- 休憩
15:00- コロイド結晶の構造制御と新規波長選択光学材料の創製 (名古屋大) 豊玉 彰子
15:15- 多孔性共有結合性有機構造体から成る革新的空気酸化触媒の創製 (阪大) 神谷 和秀
15:30- 有機ケージナノ空間の精密制御による超微小金属酸化物粒子の創製と革新的機能開拓 (筑波大) 二瓶 雅之
15:45- 超活性種の自在発生による未知化学種の実現と吸着・物質科学の新展開 (名大) 松田 亮太郎
16:00- ナノ超空間中の流動を利用した吸着と結晶化制御による新機能開拓 (京大) Sivaniyah Easan
16:15- 極限環境でのナノ空間創製・制御による革新的電子材料の開拓 (東大) 石渡 晋太郎

参加費：無料

申込方法：事前申込不要 (定員 100 名)

問合先：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部「超空間制御」研究領域 酒部

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

電話 (03) 3512-3525 FAX (03) 3222-2063

E-mail: kenichi.sakabe@jst.go.jp

領域 URL:

http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/1112062.html

http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/research_area/ongoing/bunyah25-3.htm

**JST さきがけ「統合 1 細胞解析のための革新的技術基盤」領域
— 第 2 回成果報告会：革新的バイオイメージングと 1 細胞解析技術の開発 (1 期生・平成 26 年度採択)**

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構

日時：3月22日(木) 9時30分～16時30分

会場：S5 会場 (14 号館 2 階 1423 教室)

平成 26 年 10 月に発足した JST-さきがけ「1 細胞解析」研究領域では、細胞の表現型・機能・個性やネットワークを 1 細胞レベルで定量的・網羅的に極限の精度と分解能で解析するための革新的基盤技術の創出を目指し唯一無二の方法論・ツール・装置開発に挑戦する若手研究者を幅広い分野から結集して研究を推進してきました。今回の成果報告会では、初年度採択のさきがけ研究者の中から 7 名の研究者が、さきがけプログラムの中で取り組んだ革新的な Bioimaging と 1 細胞解析技術の開発とその生物学研究への展開についてわかりやすく紹介します。また、領域アドバイザーの秋吉一成先生 (京都大学大学院工研究科) の特別講演「新規バイオナノトランスポーターの設計と医療応用」を予定しています。

プログラム

9:30- Opening Remarks (京大院工) 浜地 格 研究総括

Session 1: 最先端の顕微鏡技術と 1 細胞解析

座長：小澤 岳昌 (東大院理)

9:40- 細胞内部を観る分子解像度の三次元蛍光顕微鏡 (東工大 院理) 藤芳 暁

10:20- ケミカルマッピングを実現するナノ電気化学顕微鏡の創成 (金沢大理工) 高橋 康史

11:00- ナノダイヤモンドによる三次元構造動態イメージング技術の創成 (京大院工) 五十嵐 龍治

特別講演:

座長：浜地 格 (京大院工)

11:40- 新規バイオナノトランスポーターの設計と医療応用 (京大院工) 秋吉一成

12:25- 休憩

Session 2: 1 細胞 Omics 解析のフロンティア

座長：馬場 嘉信 (名大院工)

13:30- 超高感度 CE-MS 分析システムによる極微量プロテオーム解析 (理研 QBiC) 川井 隆之

14:10- シングルセル分解計測へ向けた細胞空間分画技術の創出 (香川大工) 寺尾 京平

14:50- 休憩

Session 3: 新規イメージングプローブと 1 細胞解析

座長：島本啓子 (サントリー生命科学財団)

15:00- 多機能蛍光プローブ群による組織内 1 細胞機能解析 (東大院医) 神谷 真子

15:40- 新規人工核酸 SNA を用いた生細胞内 RNA イメージング (名大院工) 榎田 啓

16:20- Closing Remarks (科学技術振興機構) 川口 哲

参加費：無料

申込方法：下記のサイトから事前登録をお願いいたします。

URL: <https://form.jst.go.jp/enquetes/SC-2>

問合先：国立研究開発法人 戦略研究推進部 ライフイノベーション G さきがけ「1 細胞解析」研究領域担当

〒102-0076 千代田区五番町 7 K's 五番町

電話 (03) 3512-3524

E-mail: presto.single.cell@jst.go.jp

領域 HP: http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/1112066.html

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2018

主催：エルゼビア・ジャパン株式会社

日時：3月22日(木) 13時30分～16時30分

会場：S6 会場 (14 号館 2 階 1424 教室)

Reaxys PhD Prize は、優れた化学博士課程の学生および新卒者の研究力を評価し、その研究成果とキャリアパスを広げるための支援を提供することによって、化学に革新をもたらす創造性の育成を目的として 2010 年から開催している国際アワードで、本年で 8 年目を迎えます。化学会にて恒例となりました「Reaxys Prize

Club シンポジウム in Japan」では、Reaxys PhD Prize 受賞者とファイナリストからなる Reaxys Prize Club の若手研究者による研究発表をはじめ、著名な化学者からの基調講演や特別講演等のセッションを企画しております。多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

プログラム(確定次第弊社ホームページにてお知らせいたします)

- 13:30- 開演挨拶
- 13:40- 基調講演
- 14:40- Reaxys Prize Club メンバーズからの研究発表(3~4名の発表予定)
- 16:10- エルゼビアセッション(企画中)
- 16:30- 閉会挨拶

参加費：無料

申込方法：申込不要(学会参加者)。直接会場にお越し下さい。

問合先：エルゼビア・ジャパン株式会社 リサーチソリューションズ マーケティング担当

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階

電話(03)5561-5034(代表) FAX(03)5561-0451

E-mail: jp.pr@elsevier.com

HP: <http://jp.elsevier.com/events>

研究の重要性を高めるために： Springer Nature ランチョンセミナー

主催：シュプリング・ネイチャー

日時：3月23日(金) 12時15分~13時15分(12時入場開始)

会場：S8会場(14号館3階1432教室)

世界に発信したい素晴らしい科学的発見をしたと確信したとき、どのジャーナルを選ぶべきでしょうか。いかにしてその発見に相応しいインパクトが得られるでしょうか。本セミナーでは、長年 Nature 関連誌の編集業務に携わってきたサイエンス・ディレクター Ed Gerstner より、どのようにしたらあなたの研究論文が明確かつ再現性があり、さらに発見されやすい重要なものとなるか、役に立つヒントをお届けします。本年創刊の Nature Catalysis, Communications Chemistry, また創刊10周年を迎える NPG Asia Materials などハイ・インパクトジャーナルやそれらの位置づけもご紹介いたします。ご研究を最大限アピールしたい方にとって必聴のセミナーです。ぜひこの機会をお見逃しなく、奮ってご参加下さい。

プログラム

講演者：Ed Gerstner エド ガースナー(Springer Nature 中華圏担当サイエンス・ディレクター)

※講演言語は英語です。同時通訳等はありません。

参加費：無料

申込方法：先着150名(当日朝9時より総合受付付近にて整理券配布予定)

問合先：シュプリング・ネイチャー 新谷 洋子

E-mail: jpmarket@springernature.com

天然物および生物有機化学に関する 中西シンポジウム2018

主催：中西シンポジウム実行委員会

日時：3月20日(火) 13時30分~17時30分

会場：S2会場(13号館2階1326教室)

中西シンポジウムは、日本化学会と米国化学会との取決めにより偶数年は日本で、奇数年は米国にて選考されるナカニシ・プライズの受賞講演を含み、該当国で交互に開催されている。本プライズは生物活性天然物の単離、構造解析、生物機能、生合成および全合成分野での顕著な研究業績を対象に選考され、今回は本化

学会に設置された選考委員会によって、原田宣之教授(東北大学名誉教授)に授与されることに決定した。よって本企画は選考理由である「円二色性分光法に基づいた有機化合物の立体化学に関する研究」に基づき、受賞者による講演に加えてこれに関連する最新の研究成果を周辺分野の研究者に紹介していただく。

プログラム

◆13:30-14:00 ナカニシ・プライズ授賞式

授与者(日本化学会会長)山本 尚

座長(阪大)村田 道雄

Nakanishi Prize 2018 Awardee(東北大学名誉教授)原田 宣之

◆14:00-17:00 中西シンポジウム

座長(慶應大)西山 繁

14:00- Determining Molecular Configuration and Conformation by Vibrational Circular Dichroism: from Small Molecules to Macromolecules(北大院先端生命)谷口 透

14:30- Porphyrin-based Chiroptical Sensors of Molecular and Supramolecular Chirality(コロンビア大)Nina Berova

座長(東工大)鈴木 啓介

15:00- In the Rising CD Era, How Can Mosher's Method Survive?(東工大院理)楠見 武徳

15:30- A Challenge of Organic Synthesis to Ciguatera Food Poisoning(東北大学名誉教授)平間 正博

座長(阪大)村田 道雄

16:10- 受賞記念講演「Chiral Molecular Science: from the Development of CD Exciton Chirality Method to the Invention of Light Powered Chiral Molecular Motors」(東北大学名誉教授)原田 宣之

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合先：日本化学会 企画部 櫻田

電話(03)3292-6163

E-mail: sakurada@chemistry.or.jp

イノベーションを起こす ～産官学の現場から～ (男女共同参画シンポジウム)

主催：日本化学会 男女共同参画推進委員会

日時：3月20日(火) 15時~17時30分

会場：SB会場(3号館4階341教室)

男女共同参画推進委員会では、産官学で活躍されている若手~中堅の研究者・技術者に、これまでの研究や技術開発、仕事に対するモチベーションや楽しみ・苦しみについてご紹介いただきます。また、将来のキャリアパスに対する考えもお話いただきます。様々な分野で活躍されている研究者・技術者のこれまでの取り組みや考えを知ることは、これから就職活動が始まる学生や、これから自分自身で研究を展開していこうとしている若手研究者の皆さんにとって、何よりの参考となるのではないかと思いますので、ぜひご参加下さい。

プログラム

座長：三浦 佳子

15:00- 趣旨説明・開会挨拶

15:05- 女性化学者奨励賞 受賞者の紹介

15:10- 基調講演(芝浦工業大学)國井 秀子

15:50- 第2部 ~産官学の現場から~研究者が語るイノベーションを生み出す働き方の現場

「化粧品会社でのお仕事・楽しいこと・大変なこと」(資生堂) 関根 知子

「コンタクトレンズにおける先端ゲルの不思議 偶然と必然」(メニコン)伊藤 恵利

「スマホ・タブレット用粘着シートの開発 ~ひらめきを形にするために~」(三菱ケミカル)新美 かほる

女性化学者奨励賞受賞者からの現場提言

17:10- 全体討論

17:30- 交流会（無料（学生歓迎））社会人からの情報提供・など
会場：ダビンチホール

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 竹内恵

電話(03)3292-6163

E-mail: danjo@chemistry.or.jp

論説フォーラム 徹底討論！ 「研究の潮目が変わった！SDGsは 化学が主役に一さあ、始めよう！」

主催：日本化学会論説委員会、JST 研究開発戦略センター
(CRDS)&STI for SDGs タスクチーム

日時：3月21日（水・祝）10時～12時05分

会場：SD会場（階段教室1階大教室）

2015年9月の国連総会において、2030年までの世界全体の開発目標“Sustainable Development Goals (SDGs)”17項目が議決された（有本建男，化工誌「論説」，Vol.70-1, 7-8(2017)）。SDGsは、いわば政策論ともいえるが、同時に科学者に対する新しい学問研究へのメッセージでもある。SDGsの多くは科学技術が直接貢献できるものであり、化学なくしては実現できないものも少なくない。これまでの貢献の実例を見れば、科学者たちの地道な基礎研究にたどり着く。SDGsを知って、あなたの研究を進展させよう。

プログラム

10:00- 挨拶・趣旨説明（化学会論説委員長）玉尾 皓平

セッションI：各セクターからのメッセージ

10:05- SDGsをめぐる動き（JST STI for SDGs タスクチーム）大竹 暁

10:15- SDGsのための化学，化学のためのSDGs（21世紀の化学を変革する）（政策研究大学院大学 GRIPS 教授）有本 建男

10:25- SDGsと科学技術研究課題（JST CRDS）中山 智弘

10:35- 研究の潮目を変えたSDGs（日本化学会会長）山本 尚

10:45- SDGsへの基礎研究の貢献：「長期残効型蚊帳「オリセツト®・ネット」裏話（JST CRDS センター長）野依 良治

セッションII：パネルディスカッション

11:00- パネルディスカッション「基礎研究からSDGsの達成へ」
司会：玉尾 皓平

パネリスト：論説委員会メンバー（浦田尚男，射場英紀，岡村直子，上杉志成，辻篤子ほか）とJST STI for SDGs タスクチームメンバー他

①産業界，大学・研究機関，文科省の取組み紹介
②SDGs 達成事例とわが国の科学技術の底力（事例紹介を基に総合討論）：

（目標3）マラリア感染症診断法，寄生虫に対する治療法；（目標6）逆浸透膜による海水淡水化；（目標7）リチウムイオン二次電池，LED，水素エネルギー社会；（目標9）Nd磁石；（目標11）光触媒，垂直磁気記録とビッグデータ時代などを例に

12:00- まとめ「さあ、始めよう！」（JST 理事）白木 澤佳子

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 学術情報部 美園，田中

電話(03)3292-6165

E-mail: ronsetsu@chemistry.or.jp

JST・日本化学会連携フォーラム 「国際化学サミットCS3の報告と展望」

主催：日本化学会

共催：科学技術振興機構（JST）

日時：3月21日（水・祝）9時30分～12時30分

会場：S3会場（14号館2階1421教室）

第7回CS3はSolar Energy & Photonics for a Sustainable Futureをテーマとして、2017年9月に中国大連にて開催されました。CS3とは、人類が直面する喫緊の課題に化学の立場から取り組むべく、奇数年に参加5カ国（独、英、中、米、日）が合同で開催する“Chemical Sciences and Society Summit”を指します。化学者が自由に討議する目的で、2009年スタートし、今回で第7回目の開催となります。今回のシンポジウム前半では、日本代表として参加したリーダー；堂免 一成先生（東大）をはじめとする6名の研究者が各担当のテーマについてCS3の場で交わされた議論のReviewを行います。そして後半ではCS3の最終成果物として取りまとめられた白書の公開とともに、CS3の有する個性的な性格を周知し、活動の目的や内容を会員の皆様にご存知いただくためオープンフォーラム形式の討議を行い、今後の展望、成果活用の実現性などについて論じます。

プログラム

冒頭挨拶

9:30- CS3とは一経緯と趣旨説明—（中部大/日本化学会常務理事）澤本 光男

9:45- JST 参画の趣旨とCS3の将来展望（JST）中山 智弘

10:00- 第7回CS3の概要解説（東大）堂免 一成

Review (Presentation) ※質疑応答含む

10:15- Artificial Photosynthesis and CO₂ Reduction（京大）阿部 竜

10:30- New PV Materials with Abundant Elements（奈良先端大）山田 容子

10:45- Photonic Materials and Photon Upconversion（九大）楊井 伸浩

11:00- Photofunctional Materials and Structures for Light Manipulation（京大）関 修平

パネルディスカッション

11:20- 伊藤 哲也（JST）・澤本 光男（中部大/本会常務理事）・阿部 竜（京大）・山田 容子（奈良先端大）・楊井 伸浩（九大）・関 修平（京大）

12:10- 閉会の挨拶（中部大/日本化学会会長）山本 尚

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 櫻田

電話(03)3292-6163

E-mail: sakurada@chemistry.or.jp

第12回化学遺産市民公開講座

主催：日本化学会化学遺産委員会・化学史学会

共催：日本化学工業協会

日時：3月21日（水・祝）9時30分～12時30分

会場：SA会場（14号館3階1434教室）

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまでに8回43件を認定・顕彰した。平成29年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補18件の調査・検証作業を行った。今回の市民講座では、特別講演1件とともに本年度第9回化学遺産として認定予定のもの具体的な内容をわかりやすく紹介する。

プログラム

総合司会（産総研 名誉リサーチャー）亀山 哲也

9:30- 開会挨拶（化学遺産委員会委員長/京大名誉）植村 榮

9:40- (No.044) グリフィス『化学筆記』およびスロイス『舎密学』（福井大名誉）沖 久也

10:15- (No.045) 第2次世界大戦中に日本でも合成ゴムは工業生産された！—忘れられた歴史—（日本化学会フェロー）田島 慶三

- 10:50- (No. 046) 化学起業家の先駆け 高峰譲吉—タカジアスターゼとアドレナリン—(放医研) 新井 和孝
11:25- (特別講演)「幕末の幸民麦酒の復刻物語」(小西酒造(株) 取締役生産本部長) 辻 巖
12:25- 閉会挨拶(産総研 名誉リサーチャー) 亀山 哲也

参加費：無料。希望者には別途資料有料配布(予価1,000円)
申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。
URL: <http://www.chemistry.or.jp/know/heritage/>
問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬 飛渡
電話(03)3292-6163
E-mail: chemarch@chemistry.or.jp

第25回化学教育フォーラム 「中等教育で身につけたい 化学(科学)リテラシー」

主催：日本化学会 教育・普及部門
日時：3月21日(水・祝) 13時30分～17時
会場：SD会場(階段教室1階大教室)

本来の化学(科学)教育は、大学進学だけを目的にしたものではない。現代をより安全で豊かな社会にするために、一般の人すべてが化学のリテラシーを身につける必要がある。しかし、学習指導要領が変わり、教科書の内容の増加に伴って、時間のかかる化学実験や、特定の単元を軽視する傾向の学校があるとしばしば聞く。一方、本来あるべき化学リテラシーを生徒に身につけさせて卒業させようと努力している学校もあるのではなかろうか。本フォーラムでは、化学を様々な観点から工夫し指導することで生徒の化学リテラシーを身につけようと授業を実践している例を紹介したい。

プログラム

- 〈13:30～13:45〉
1. 開会の挨拶
2. 趣旨説明
〈13:45～15:45〉
3. 中等教育で身につけたい化学リテラシー(仮題)(開成学園中学校高等学校・教諭) 齊藤 幸一
4. 中学校での実践例(仮題)(東京学芸大学附属世田谷中学校・教諭) 高田 大樹
5. 高等学校での実践例1(仮題)(芝浦工業大学柏中学高等学校・教諭) 山本 孝二
6. 高等学校での実践例2(仮題)(東京都立青山高等学校・教諭) 吉田 工
〈16:05～17:00〉
7. パネルディスカッション
8. 閉会の挨拶

参加費：無料
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 大倉寛之
電話(03)3292-6164
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

単結晶金属錯体の構造と電子状態の 転移ダイナミクス

主催：日本化学会 学術研究活性化委員会
日時：3月21日(水・祝) 13時30分～17時15分
会場：S4会場(14号館2階1422教室)

ある種の金属錯体では単結晶状態を保ちながら、構造や電子状態などの転移が観測されるものがある。そのメカニズムや物性は基礎科学のみだけでなく材料科学の観点から大変興味を集めている。本シンポジウムでは、キラル超分子金属錯体の構造ダイ

ナミクスや反応、擬一次元錯体における構造・電子状態相転移と価数揺動、超弾性を示す結晶、構造変化をスナップショット的に解明する測定法の開発、メカノクロミズムなどについて発表と議論を行う予定である。

プログラム

- 座長：速水 慎也(熊本大)
13:30- キラル超空間の設計：分子配列、反応、その場観察(東大院理) 塩谷 光彦
14:15- 擬一次元鎖Pd(III)モット絶縁体とPd(II)-Pd(IV)電荷密度度間の相転移と価数揺動(東北大 WPI-AIMR) 山下 正廣
15:00- 有機超弾性の発見(横浜市大国際総合) 高見澤 聡
座長：張 浩徹(中央大)
15:45- 結晶性細孔を利用した反応のその場観察(東工大化学) 河野 正規
16:30- 機械的刺激による結晶相転移を分子からデザインする(北大院工) 伊藤 肇

参加費：無料(希望者には調査報告書を1,000円で配布)
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 中村史夫
電話(03)3292-6165
E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

ケミカルレコード・レクチャー 2018

主催：日本化学会・Wiley-VCH
日時：3月22日(木) 10時30分～11時30分
会場：S3会場(14号館2階1421教室)

日本の化学関係8学協会のジャーナルとして刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は2011年より日本化学会の雑誌としてリニューアルをいたしました。Wiley-VCHとの本格的な提携によりインパクト・ファクターを含むビジビリティも着実に向上しております。山本尚編集委員長による編集体制の下、本年も年会に併せてTCR Lectureを開催いたします。多くの皆様の参加をお願いいたします。

プログラム

Title: Molecular Photovoltaics and Perovskite Solar Cells
Lecturer: Prof. Michael Grätzel (École Polytechnique Fédérale de Lausanne, Switzerland)

参加費：無料(年会登録者に限る)
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 学術情報部 TCR係
電話(03)3292-6165
E-mail: tcr@chemistry.or.jp

あなたの将来を考えるランチオン相談会 ～企業が求める化学者像～

主催：日本化学会 産学交流委員会 人材交流小委員会
日時：3月22日(木) 11時30分～13時
会場：S8会場(14号館3階1432教室)

科学技術で生き残りを図る日本においては、科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、アカデミアのみならず産業界においても高度な知識と研究開発力を持った人材が変革の時代を迎える今こそ必要です。本企画では、人材の育成に取り組んでいただいている方からのメッセージを貰うとともに、ランチオンセミナーで、企業の研究者、研究管理者とともにあなたのキャリアパスについて考えてみたいと思います。

プログラム

11:30- 話題提供『企業が求める化学者像』（東レ）長瀬 公一

11:45- 企業研究者・研究管理者紹介

■企業研究管理者：長瀬 公一（東レ），矢作 和行（花王），林 健太郎（三菱ケミカル），青木 拓実（東レ）。

■企業若手研究者：吉本 幸平（ニコン），張 話明（Bosch），浅野 祥生（東ソー），石川 玄（BASF ジャパン）。

■女性研究者，研究管理者：渡辺 訓江（ブリヂストン），中村 絢子（三菱ケミカル）。

■アカデミア，国研：中村 暢文（東農工大），松本 和弘（産総研）。

12:00- ランチオングループディスカッション

参加費：無料（年会登録者に限る）

申込方法：Web (goo.gl/DMB6tz) よりお申込み下さい。（先着 50 名）席数に余裕がある場合には，当日の朝 10 時より総合受付付近にて整理券配布予定です。

問合先：日本化学会 企画部 坂下修一，白石雄介，矢部奈津子
電話 (03) 3292-6163

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

世界から見た日本の化学研究 —英語化講演—

主催：日本化学会 国際交流委員会

日時：3月22日(木) 13時30分～14時30分（予定）

会場：S4 会場（14 号館 2 階 1422 教室）

科学の国際化に伴い，化学を専攻する学生や研究者にとって，英語の重要性はますます高まっている。しかし，欧米や他のアジア諸国に比べ，日本はグローバル化が進んでいないのが現状である。この問題は，日本でも認識されていて近年よく議論されている。本企画では日本と海外を両方に精通しておられるイリエシユ先生（東京大）をお招きし，ルーマニア出身のイリエシユ先生はなぜ日本の大学で教育を受け，日本のアカデミア界で活躍することを決心したか，また，日本での研究のメリットとデメリット，日本と海外の化学研究の違い，などについてご講演をいただき，研究者がグローバルに活躍するために大いに役立つコツを伝授する。

プログラム

13:30- 世界から見た日本の化学研究（東京大学）Laurean Ilies

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合先：日本化学会 企画部 徳橋祥平

電話 (03) 3292-6163

E-mail: tokuhashi@chemistry.or.jp

CSJ ジャーナルフォーラム 「歴史的な大飛躍を続ける BCSJ, CL 誌と共に」

主催：日本化学会 ジャーナル戦略委員会

日時：3月22日(木) 15時～16時30分

会場：S4 会場（14 号館 2 階 1422 教室）

日本化学会が刊行するジャーナル 2 誌 Bulletin of the Chemical Society of Japan (BCSJ) と Chemistry Letters (CL) は，2013 年より科研費の補助を受け，国際的なビジビリティの向上のため様々な取り組みを行い，掲載論文の質の向上，読者の激増などの成果を挙げている。その結果として，今年発表となる Impact Factor (IF) 2017 では，BCSJ は >3, CL は約 2 となる見込みである。本フォーラムでは，前半でこの飛躍的な成果を遂げた取り組みを紹介し，後半では著名な先生方を講師としてお招きして，化学会論文誌への熱い思い，執筆におけるポイントや苦労話をご紹介いただく。日頃からジャーナルを活用されている研究者や論文執筆を考えている学生の皆さんにぜひ参加いただきたい。

プログラム

15:00- 化学会ジャーナルが変わった！（ジャーナル戦略委員会委員長）玉尾 皓平

15:05- BCSJ の世界戦略：Rising sun again, Japanese Chemistry（編集委員長）有賀 克彦

15:20- 速い，厳しい，フレンドリー，CL 誌を躍進させる次の一手は？（編集委員長）塩谷 光彦

15:35- わたしは BCSJ 論文に育ててもらった！（産総研）佐藤 一彦

15:50- Chem. Lett. への思い：執筆者および編集委員の立場から（京大）植村 卓史

16:05- 戦略的な論文執筆のための知識：Web of Science 活用術（Clarivate Analytics）棚橋 佳子

16:25- 終わりに：もっと良くしよう。

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合先：日本化学会 学術情報部 中村史夫，中谷敏幸

電話 (03) 3292-6165

E-mail: nakamura@chemistry.or.jp